

「人権」とは、人はだれでも自分らしく、幸せに生きる権利があることです。自由に遊び、好きなことを学ぶ権利、自分の思っていることを言うことができる権利など、みなさん一人一人だれもがもっています。でも、この人権が守られていないことが世界にはたくさんあります。わたしたちの学校にもあるかもしれません。悪口を言う、友だちをたたく、ける、人のものを壊す、かくす、仲間はずれにする…、だれもが嫌な気持ちになってしまいます。そうは言っても、悪口はつい出てしまうことがありますね。悪口の中には、相手の心を深く傷つけ、相手の人権をこわしてしまうものがあります。自分と違うこと、例えば、身体の特徴や生まれ持った個性、国籍の違う人、障がいのある人、病気の人、お年寄りに対する差別の言葉は、言ってはいけない言葉です。相手の立場を考え、思いやりの気持ちをもって相手に接する心が大切です。そして嫌な気持ちがあれば相手に伝える勇気も大切です。そういった心をもつことが人権を尊重することになります。

「みんなちがって、みんないい」これは去年の夏、朝礼でみなさんに紹介した金子みすずさんのことばです。みんなそれぞれちがいがあります。一人として同じ人はいません。そのちがいを悪口の材料にするのではなく、自分とはちがう個性として認めることが大切です。みなさんには、その違いがもし病気や障がいであったとしたら、それを助ける人になって欲しいと思います。



今週金曜日12月4日から10日は、人権週間です。学級でも人権についてみなさんと話し合う時間をぜひもってくださいね。